

# 2021年度 事業計画書(案)

## (2021年4月1日～2022年3月31日)

### I. 2021 年度の基本方針

2021 年度は 2020 年から延期になっていた東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本国内はニューノーマル時代に変容しますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底しながら、世界各国から集まる訪日客や日本選手のメダル獲得を応援する人達で大いにスポーツが盛り上がり期待されます。

公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団は「ジュニアスポーツの振興に関する諸般の事業の推進を図り、心身ともに健全なジュニアを育成し、もって明るく豊かで活力に満ちた社会の実現に寄与する」ことを目的として活動いたします。2021 年度から新たにテニス・バドミントン競技にて海外遠征や海外トップ選手を国内招致した国際交流助成事業と国際大会で金メダル獲得者を育成するエリート奨学事業を募集開始いたします。併せて、国内外の各競技大会で活躍できる選手の強化と幅広い競技者の育成を目的として助成事業を運営し、各競技ジュニア選手や指導者を目指す大学生に奨学事業を有効活用し応援してまいります。

### II. 2021 年度の事業計画

2020 年の世界経済は終息の見えないコロナ禍にあり、停滞した経済の回復は目途が立たず、2021 年度においても進展が不透明な環境で推移すると考えます。そのような状況下、当財団の運用資金の半額以上を占める保有株式は 2020 年に大量株式の寄附を得たことで 1 株あたりの配当単価が減額になっても総配当利金の増加が見込めます。その反面、保有している仕組債は米国や中国の経済動向による為替相場の変動が注視される中、前年より利金の確保が困難になると判断しております。

このような財政状況の中、収支相償の法令に従い下記金額を事業計画とし、審査はより有効的に活用されるよう最善の注意を払ってまいります。

事業目的別の事業計画は次の通りです。

#### 1. 助成に関する事業

2,900 万円（前年予算対比 120%）を計上いたします

#### 2. 奨学に関する事業

1,300 万円（前年予算対比 130%）を計上いたします

#### 3. 表彰に関する事業

100 万円（前年予算対比 33%）を計上いたします

### III. 2021 年度の募集状況

助成事業と奨学希望者及び表彰対象者の募集は、前年に引き続きホームページで情報を公開し、一層わかり易い内容に努めます。助成事業は公益財団法人日本スポーツ協会や各都道府県高等学校体育連盟等の競技団体へ、奨学事業は各都道府県の教育委員会、全国の体育学部等のある大学へ応募用紙を送付いたします。

今後もより健全な運営に努め、スポーツ振興の礎になるように力を注いでゆく所存です。